

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】特表 2006-520803(P2006-520803A)

【公表日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報 2006-036

【出願番号】特願 2006-507432(P2006-507432)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 K	31/20	(2006.01)
A 6 1 K	31/23	(2006.01)
A 6 1 K	31/201	(2006.01)
A 6 1 K	31/202	(2006.01)
A 6 1 K	31/231	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/30	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/08	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/355	
A 6 1 K	31/20	
A 6 1 K	31/23	
A 6 1 K	31/201	
A 6 1 K	31/202	
A 6 1 K	31/231	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 K	47/30	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	19/08	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 K	9/06	

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レシチン脂肪酸、オリーブ油脂肪酸、エステル化された脂肪酸およびトコフェノール類の混合物を含む、組成物。

【請求項 2】

前記レシチン脂肪酸が前記組成物の約 1 % ~ 約 10 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記レシチン脂肪酸が前記組成物の約 1 % ~ 約 5 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記レシチン脂肪酸が前記組成物の約 5 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記オリーブ油脂肪酸が前記組成物の約 15 % ~ 約 25 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記オリーブ油脂肪酸が前記組成物の約 15 % ~ 約 20 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

前記オリーブ油脂肪酸が前記組成物の約 20 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記エステル化された脂肪酸が前記組成物の約 70 % ~ 約 80 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記エステル化された脂肪酸が前記組成物の約 70 % ~ 約 75 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記エステル化された脂肪酸が前記組成物の約 74 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記トコフェノール類の混合物が前記組成物の約 1 ~ 約 5 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 12】

前記トコフェノール類の混合物が前記組成物の約 1 % ~ 約 3 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 13】

前記トコフェノール類の混合物が前記組成物の約 1 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 14】

前記レシチン脂肪酸が、パルミチン酸、ステアリン酸、パルミトオレイン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、パルミトオレイン酸、オレイン酸、リノール酸およびリノレン酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記オリーブ油脂肪酸が、オレイン酸、パルミチン酸、リノール酸、ステアリン酸およびアラキジン酸、およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 16】

前記エステル化された脂肪酸が、デカン酸、ラウリン酸、ミリストレイン酸、ミリスチン酸、パルミトオレイン酸、パルミチン酸、オレイン酸およびステアリン酸およびそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 17】

関節炎または他の炎症性関節状態、乾癬、狼瘡、歯周疾患、あるいは心臓または心血管の状態を処置および予防するための医薬組成物であって、該組成物は約 1 % ~ 約 10 % のレシチン脂肪酸、約 15 % ~ 約 25 % のオリーブ油脂脂肪酸、約 70 % ~ 約 80 % のエステル化された脂肪酸および約 1 % ~ 約 5 % のトコフェノール、および医薬的に許容される担体類を含む、薬学的組成物。

【請求項 18】

薬学的組成物が、さらに保護コロイド類、懸濁または膨張性薬剤類、賦形剤類、結合剤類および担体類として、生体適合性ポリマー類を含む、請求項 17 に記載の薬学的組成物。

【請求項 19】

関節炎または他の炎症性関節状態、乾癬、狼瘡、歯周疾患、あるいは心臓または心血管の状態を処置および予防するための請求項 1 に記載の組成物であって、該組成物は、有効量で存在し、該組成物は、そのような処置を必要とする被験体に投与するのに適している、組成物。

【請求項 20】

関節炎または他の炎症性関節状態が、骨関節炎、強直性脊椎炎、くびの関節炎、線維筋痛 (f i r b r o m y a l g i a)、骨壊死、パジェット病、滑液包炎、乾癬、痛風、手根管圧迫症候群、若年性関節リウマチ、腰仙関節炎、乾癬性関節炎およびリウマチ様関節炎からなる群から選択される、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記被験体が哺乳類である、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 22】

前記哺乳類がヒトである、請求項 21 に記載の組成物。

【請求項 23】

関節炎または他の炎症性関節状態、乾癬、狼瘡、歯周疾患、あるいは心臓または心血管の状態を処置および予防する方法であって、該方法は、そのような処置を必要とする被験体に請求項 1 に記載の組成物の効果的な量を投与することを含み、該被験体が、イヌまたはネコである、方法。

【請求項 24】

前記組成物が局所適用を経て投与されるのに適している、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 25】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 1 ~ 15 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 26】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 3 ~ 10 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 5 ~ 8 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記組成物が経口的に投与されるのに適している、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 29】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 5 ~ 32 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 30】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 10 ~ 30 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 31】

前記組成物が被験体の体重に対し 1 日あたり約 15 ~ 25 m g / k g の量で投与されるのに適している、請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 32】

組成物が軟らかいゲルを介し投与されるのに適している、請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 33】

前記組成物が 1 日 1 回投与されるのに適している、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 34】

前記組成物が 1 日 2 回投与されるのに適している、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 35】

前記組成物が、関節炎または他の炎症性関節状態、乾癬、狼瘡、歯周疾患、あるいは心臓または心血管の状態を処置または予防するのに効果的な他の化合物または療法と組み合わせて、被験体に投与されるのに適している、請求項 19 に記載の組成物。